

2023年3月期

第2四半期決算説明会



2022年11月4日
ヤマハ株式会社

決算発表のポイント

決算概要

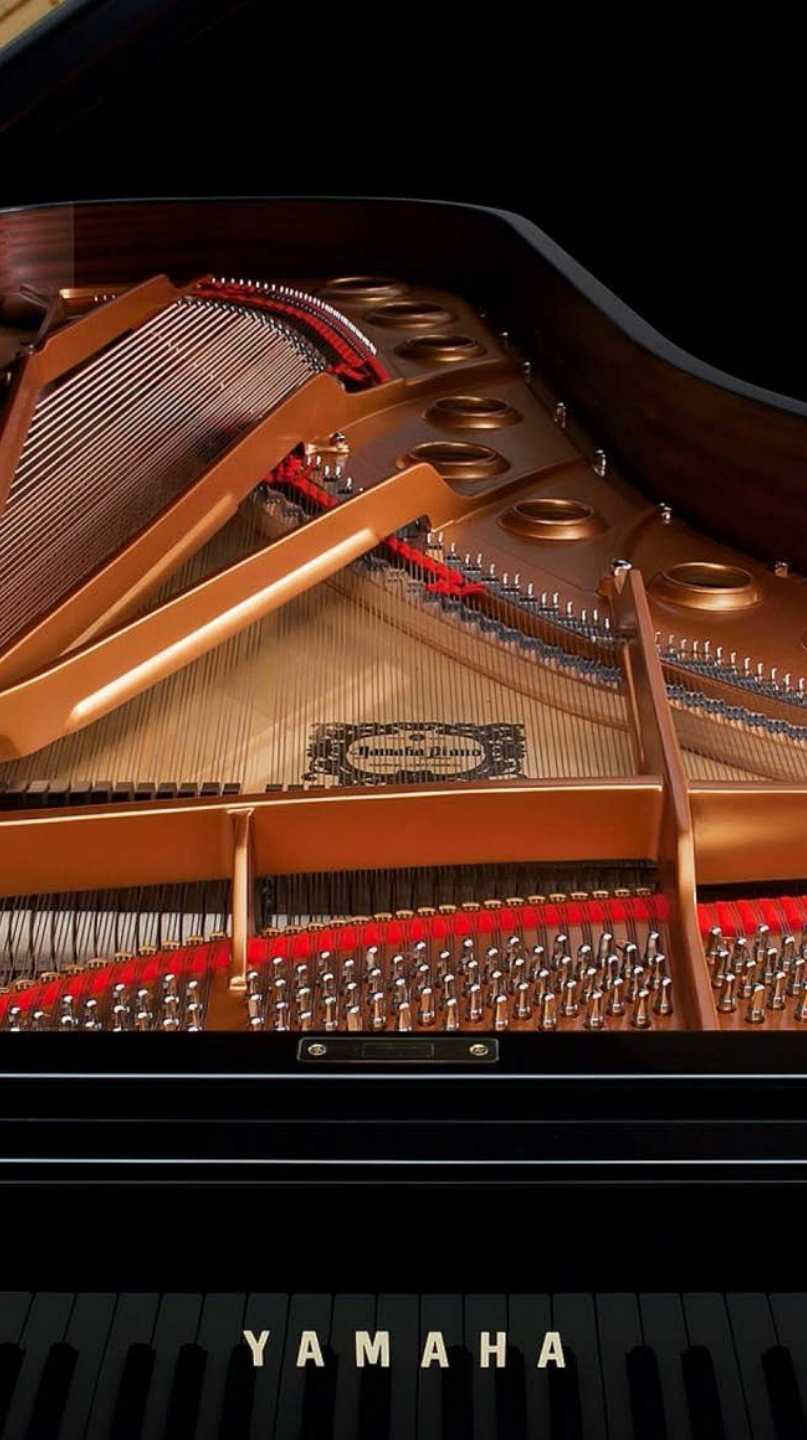
【23/3月期 上期実績】

- ・ 中国ロックダウン影響長期化、半導体調達難継続も、為替影響により増収
- ・ 実質減収の中、コスト上昇分の価格対応に加え為替影響の寄与もあり増益
- ・ 第2四半期（3ヶ月）は、実質増収増益

業績予想

【23/3月期 通期予想】

- ・ 為替影響を折り込み、売上収益、事業利益、当期利益とも上方修正
- ・ 中国ロックダウン影響長期化、エントリーモデル需要軟調地域拡大も
楽器の中高級品需要は堅調



Y A M A H A

1. 決算概要

業績概要

(億円)

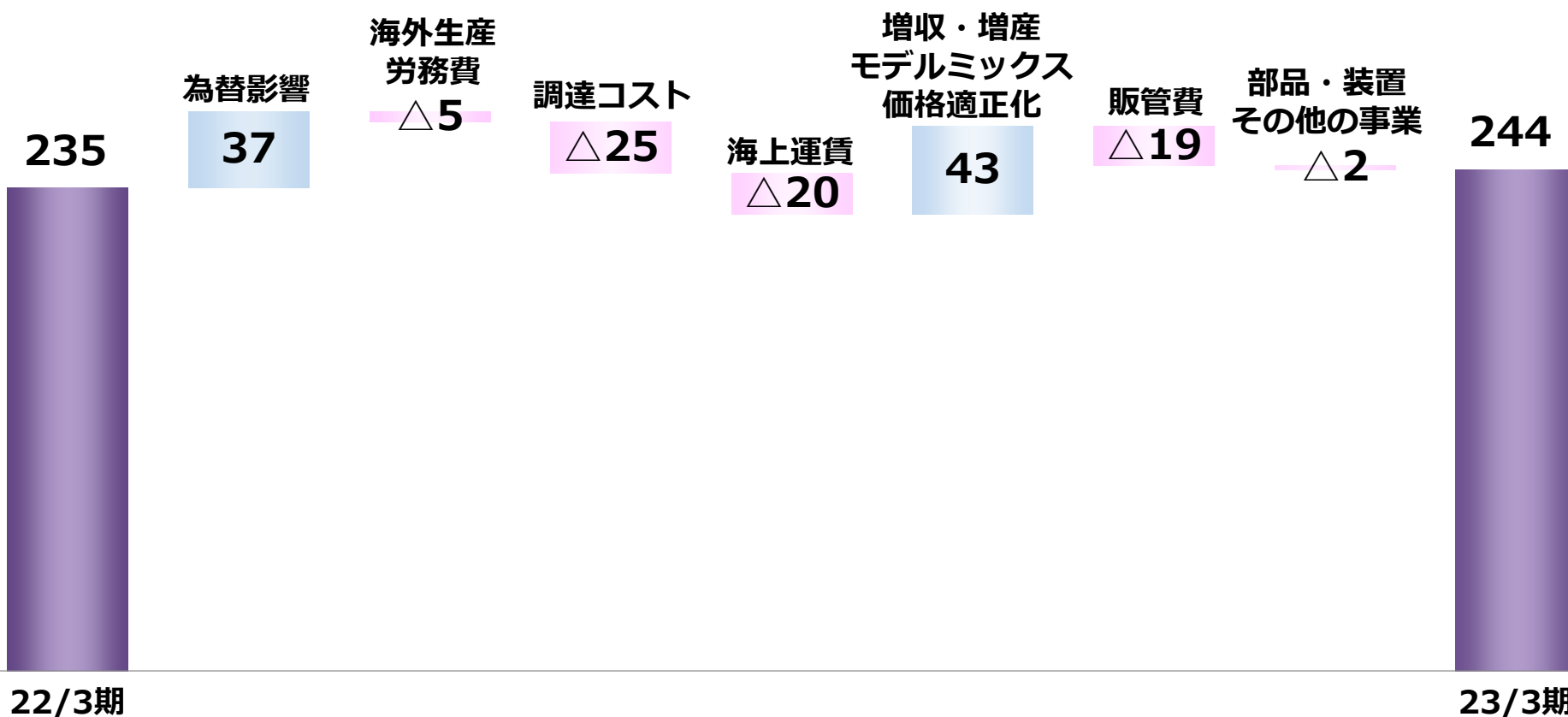
	22/3		23/3		前期比	
売上収益	1,985		2,180		+195	+9.8% ^{*2}
事業利益 (事業利益率)	235 (11.8%)		244 (11.2%)		+9	+3.9%
当期利益 ^{*1}	214		208		△6	△2.9%
為替レート (円)					*2 △1.7% (為替影響除く)	
売上収益 (期中平均)	US\$	110	134			
	EUR	131	139			
利益 (決済レート)	US\$	110	132			
	EUR	129	134			

*1 親会社の所有者に帰属する当期利益

事業利益増減要因

前期との比較

(億円)



事業別業績

(億円)

		22/3	23/3	前期比	為替影響
楽器事業	売上収益	1,338	1,501	163	166
	事業利益	193	206	13	37
	事業利益率	14.4%	13.7%	△0.7P	
音響機器事業	売上収益	474	474	0	43
	事業利益	16	5	△12	△10
	事業利益率	3.4%	1.0%	△2.4P	
部品・装置 その他の事業	売上収益	172	205	32	20
	事業利益	26	34	8	10
	事業利益率	15.2%	16.7%	+1.5P	

通期業績予想

(億円)

	22/3	23/3 (前回予想)	23/3 (今回予想)	前期比	前回予想比
売上収益	4,082	4,600	4,700	+618	+100
事業利益 (事業利益率)	430 (10.5%)	500 (10.9%)	520 (11.1%)	+90	+20
当期利益 ^{*1}	373	375	410	+37	+35

為替レート (円)

売上収益 (期中平均)	US\$	112	126	137
	EUR	131	136	139
利益 (決済レート)	US\$	112	125	136
	EUR	131	134	137

1円変動による影響額

約10.5億円

約6.3億円

約1.1億円

約3.9億円

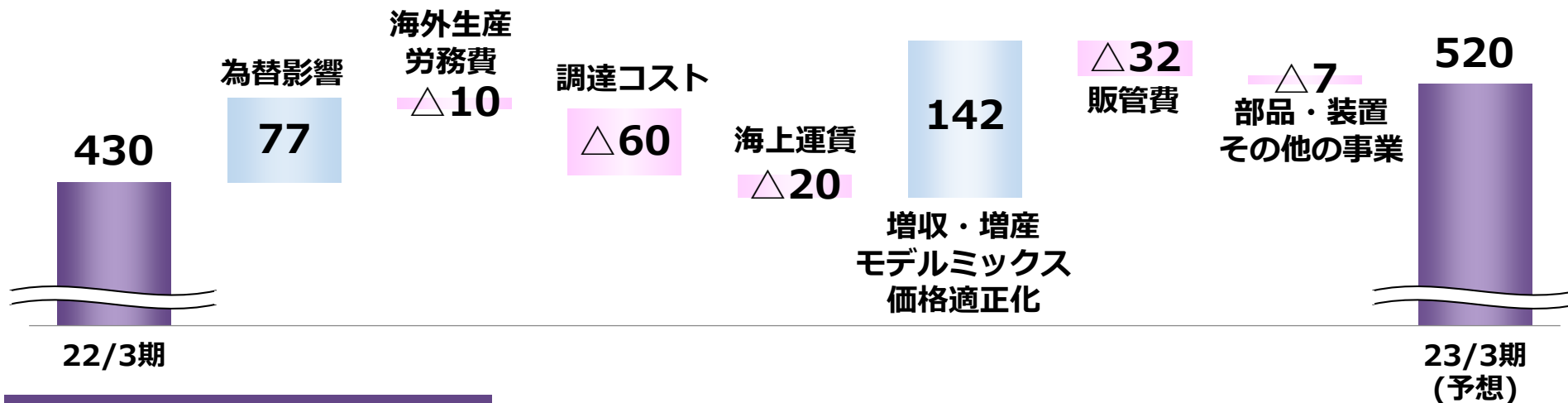
*1 親会社の所有者に帰属する当期利益

※下期の為替前提は、US\$140円、ユーロ140円

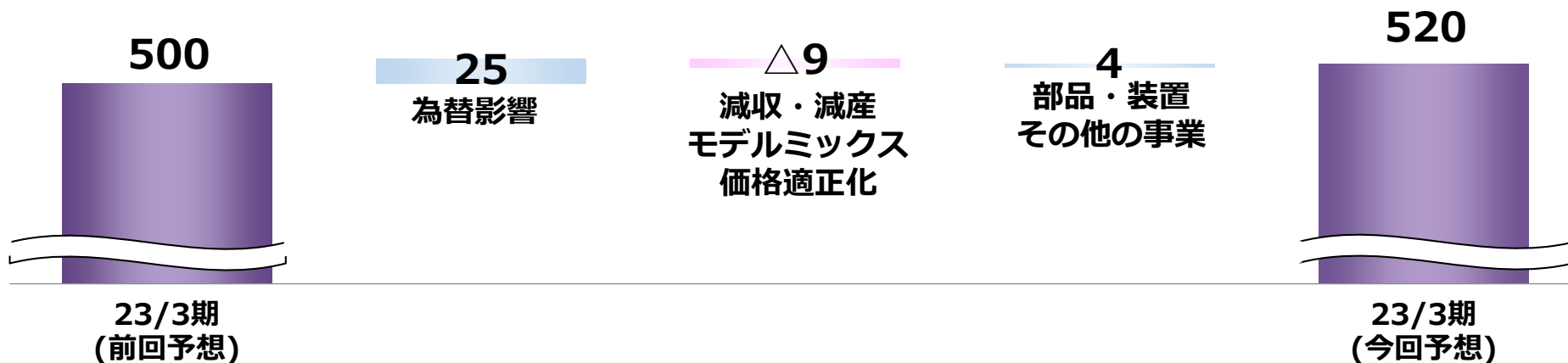
事業利益増減要因

前期との比較

(億円)



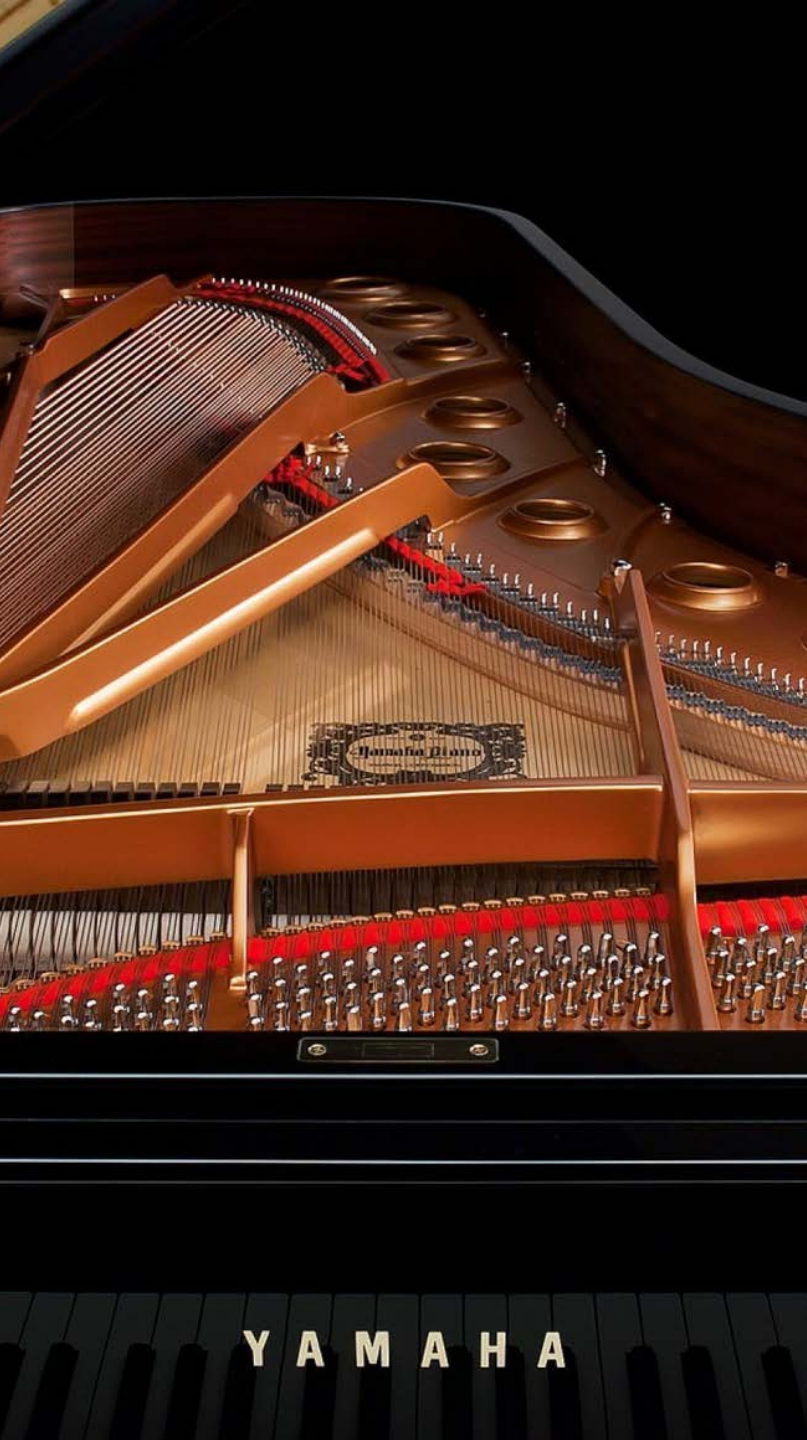
前回予想との比較



事業別業績予想

(億円)

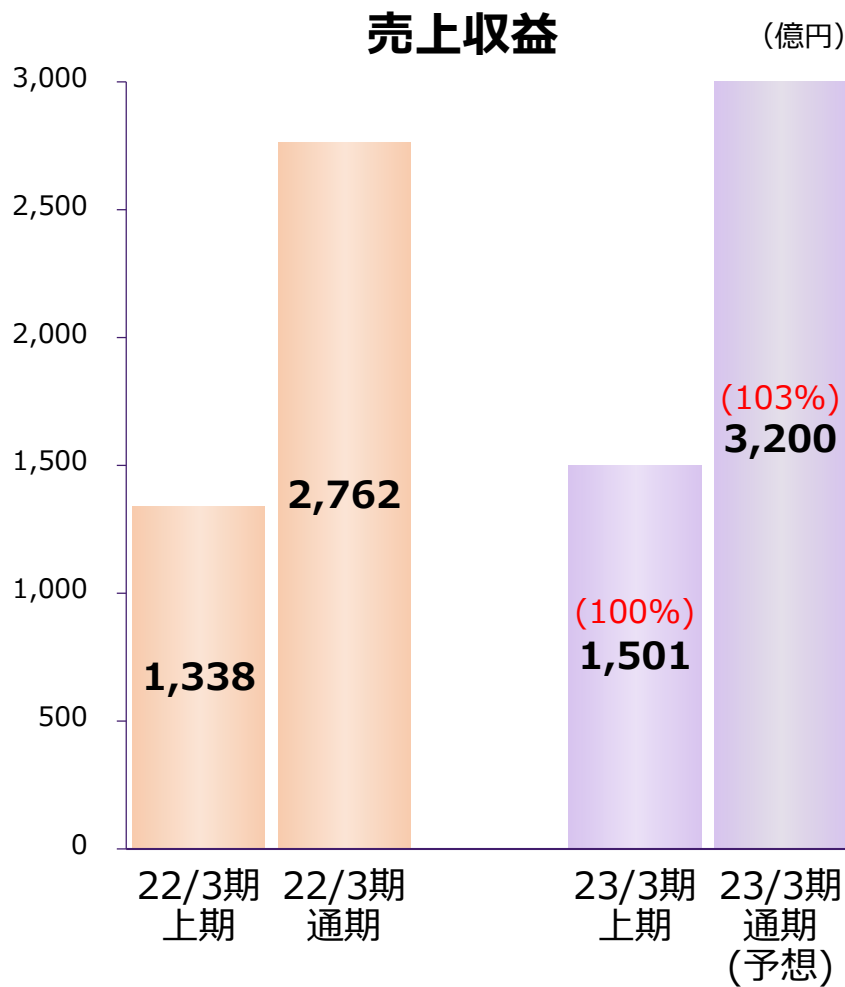
		22/3	23/3予想	前期比	為替影響
楽器事業	売上収益	2,762	3,200	438	347
	事業利益	373	440	67	78
	事業利益率	13.5%	13.8%	+0.3P	
音響機器事業	売上収益	969	1,080	111	99
	事業利益	15	30	15	△16
	事業利益率	1.6%	2.8%	+1.2P	
部品・装置 その他の事業	売上収益	351	420	69	42
	事業利益	42	50	8	16
	事業利益率	11.8%	11.9%	+0.1P	



Y A M A H A

2. 事業別概要

売上収益・事業利益



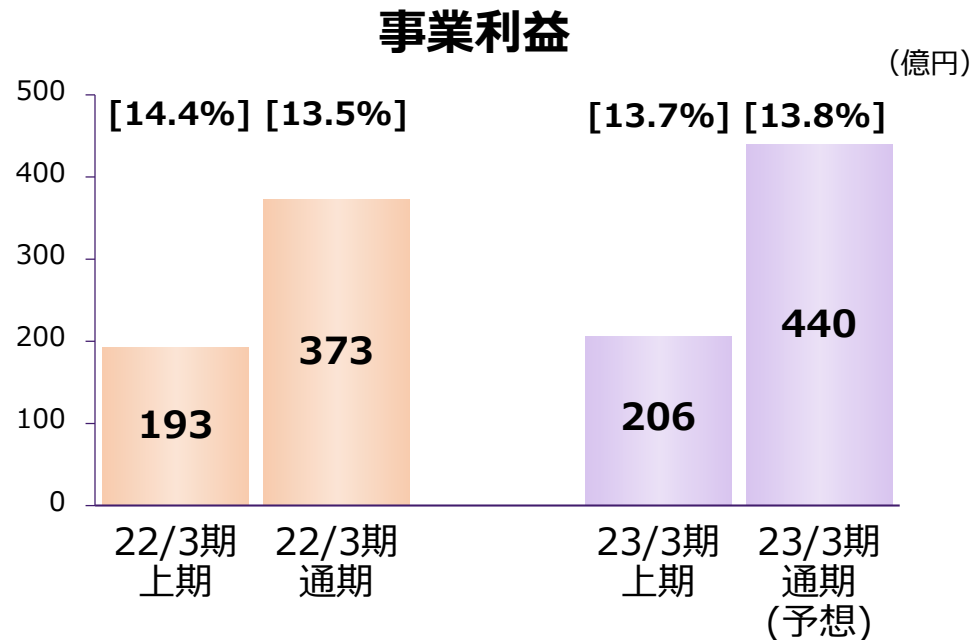
[上期状況] 第1四半期の減収をキャッチアップし前年並み

- ・中国ロックダウン影響によりピアノは減収、電子楽器はエントリーモデル需要軟調でほぼ前年並み、管弦打は北米需要旺盛で2桁増収、ギターは中国好調で増収
- ・全地域で、中高級モデル需要は依然旺盛

[通期見込] 供給回復により増収を予想

- ・中国ロックダウン影響長期化でピアノは減収、それ以外のカテゴリーは増収を予想
- ・供給不足改善し、エントリーモデルの減速を中高級品でカバー

(増減収はすべて実質ベース)



()内は為替を除いた実質ベースでの前期比増減

[]内は事業利益率

主要商品 販売状況

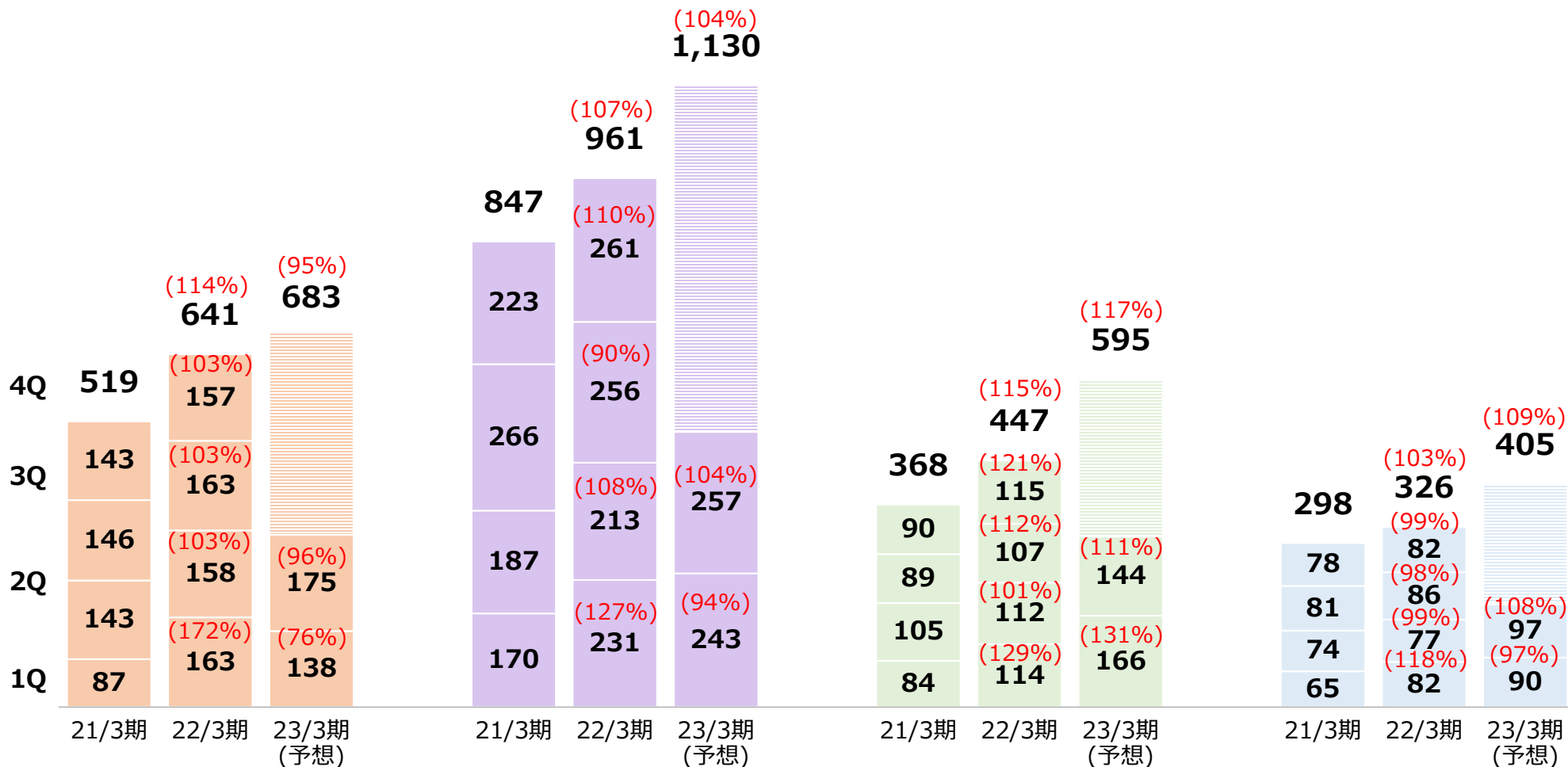
ピアノ

電子楽器

管弦打楽器

ギター

(億円)

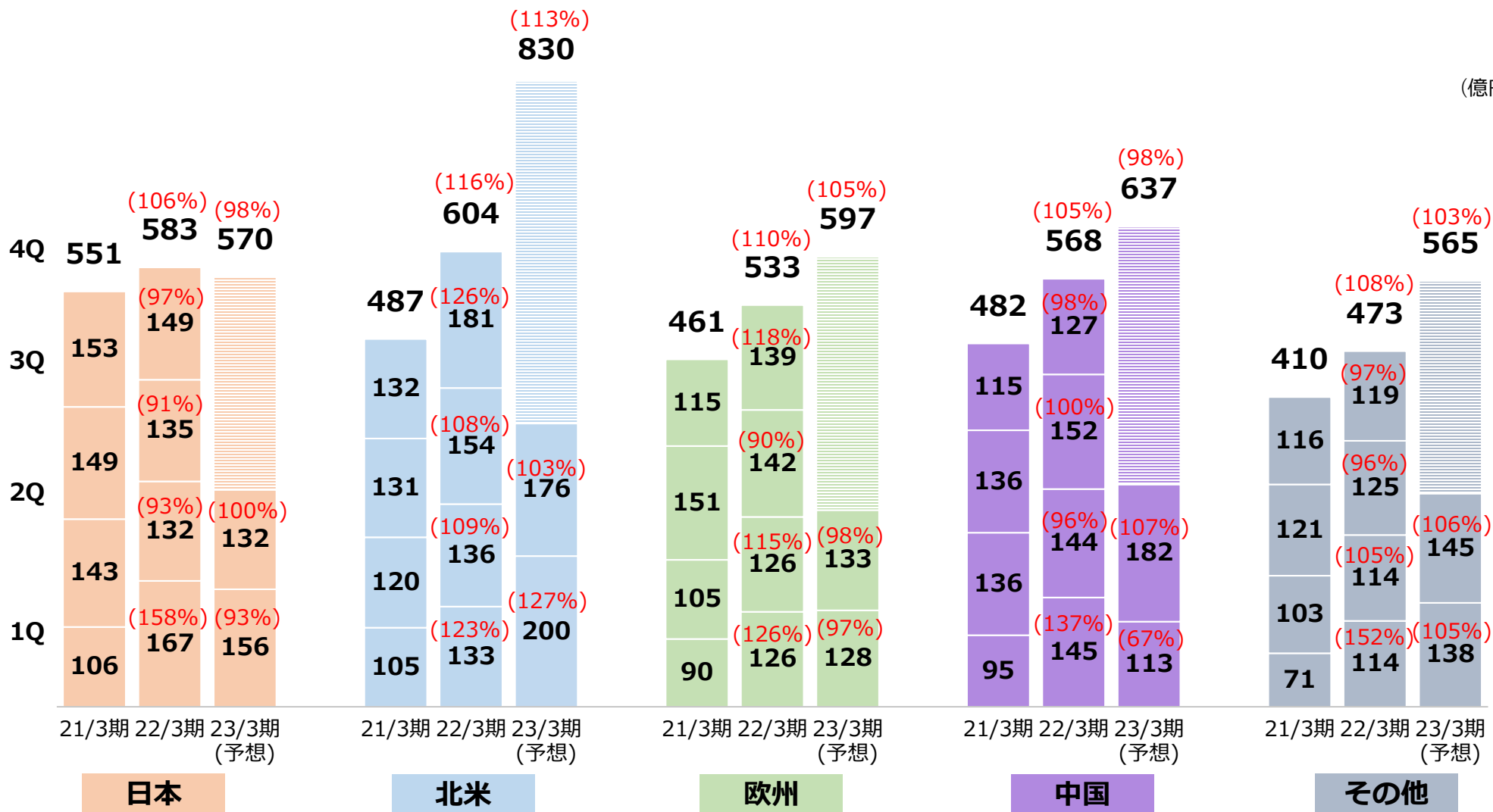


()内は為替を除いた実質ベースでの前期比増減

*ギターは、Line 6・Ampegブランド売上を含む 11

地域別販売状況

(億円)



※ソフト、音楽教室等を含む

()内は為替を除いた実質ベースでの前年同期比増減

個性際立つ商品の開発

幅広い技術を融合した個性的な商品群

ベーゼンドルファー グランドピアノ
『カメラ』



シェーンブルン宮殿の庭園に咲く椿を
伝統的な象嵌細工で描き出した華やかな限定モデル

『トランスアコースティック™ピアノ』
『サイレントピアノ™』新ラインアップ



新開発センサーで繊細な表現まで再現
いつでも豊かなアコースティックピアノ体験を提供

ミュージックシンセサイザー
『MODX6+』 『MODX7+』 『MODX8+』



キーボーディストの独創的なサウンド創造と
ダイナミックな演奏表現を実現

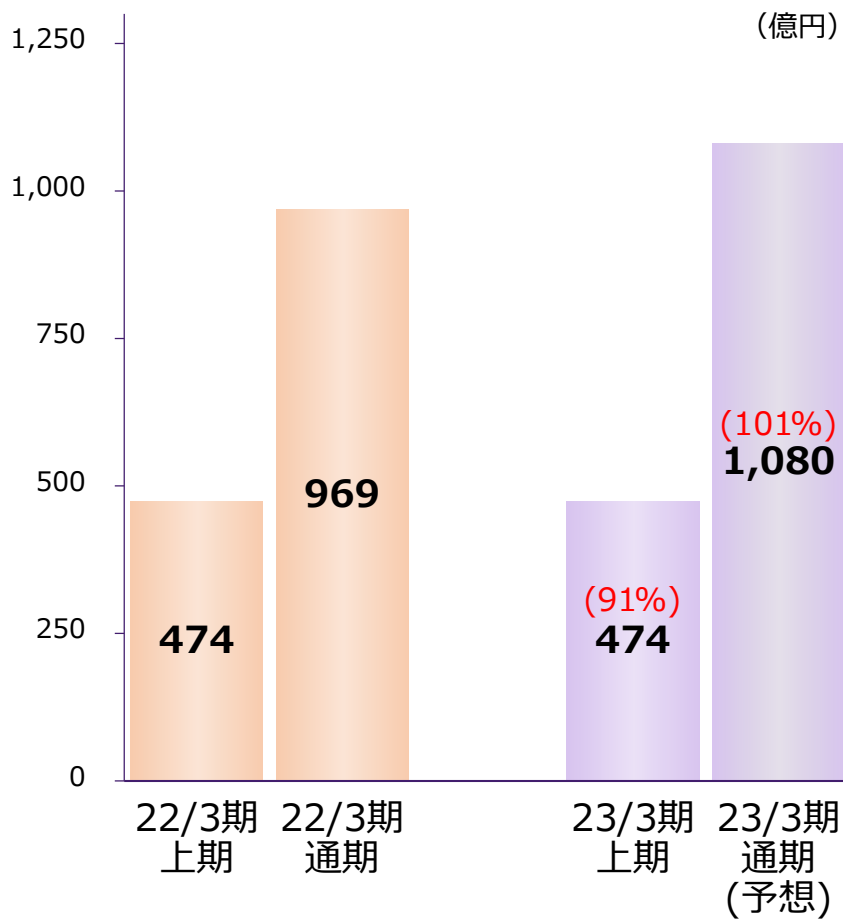
ギターアンプ
『THR30II Wireless Black / White』



国内外で高い評価を得ている“第3のアンプ”「THR」に
カラーバリエーションモデルが登場

売上収益・事業利益

売上収益



()内は為替を除いた実質ベースでの前年同期比増減

[上期状況] 半導体調達難の影響続き減収

- AV・PAは半導体調達難による供給不足が続き減収
- ICTはネットワーク需要旺盛で、UC*特需反動減を補い前年並み

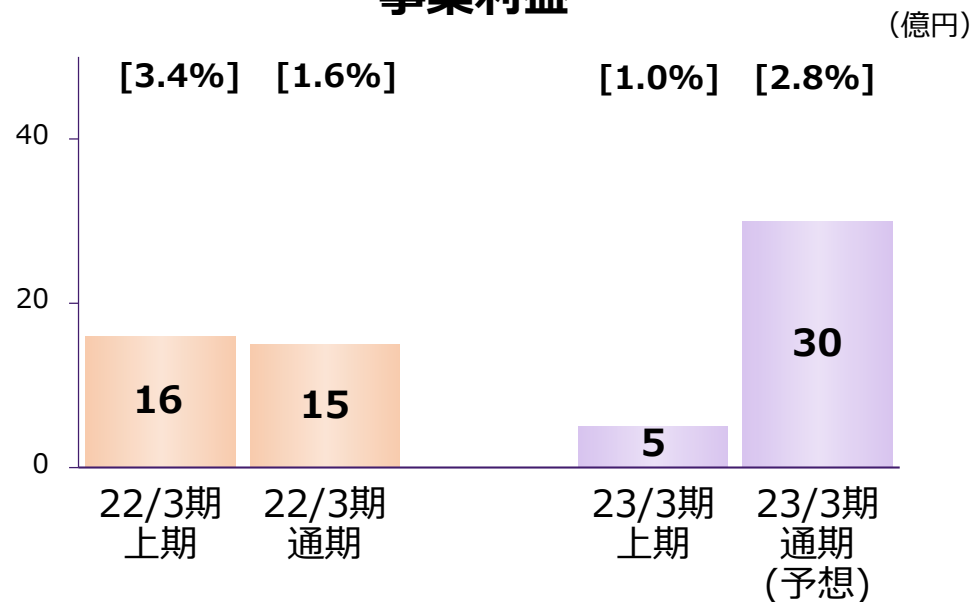
[通期見込] 半導体調達難影響継続も増収を予想

- AVは半導体調達難影響継続し減収を予想
- PAは半導体調達難の影響あるも、一部改善が見られ増収を予想
- ICTは旺盛なネットワーク需要に加え、UCの法人需要増により増収を予想

*UC:会議システム

(増減収はすべて実質ベース)

事業利益



[]内は事業利益率

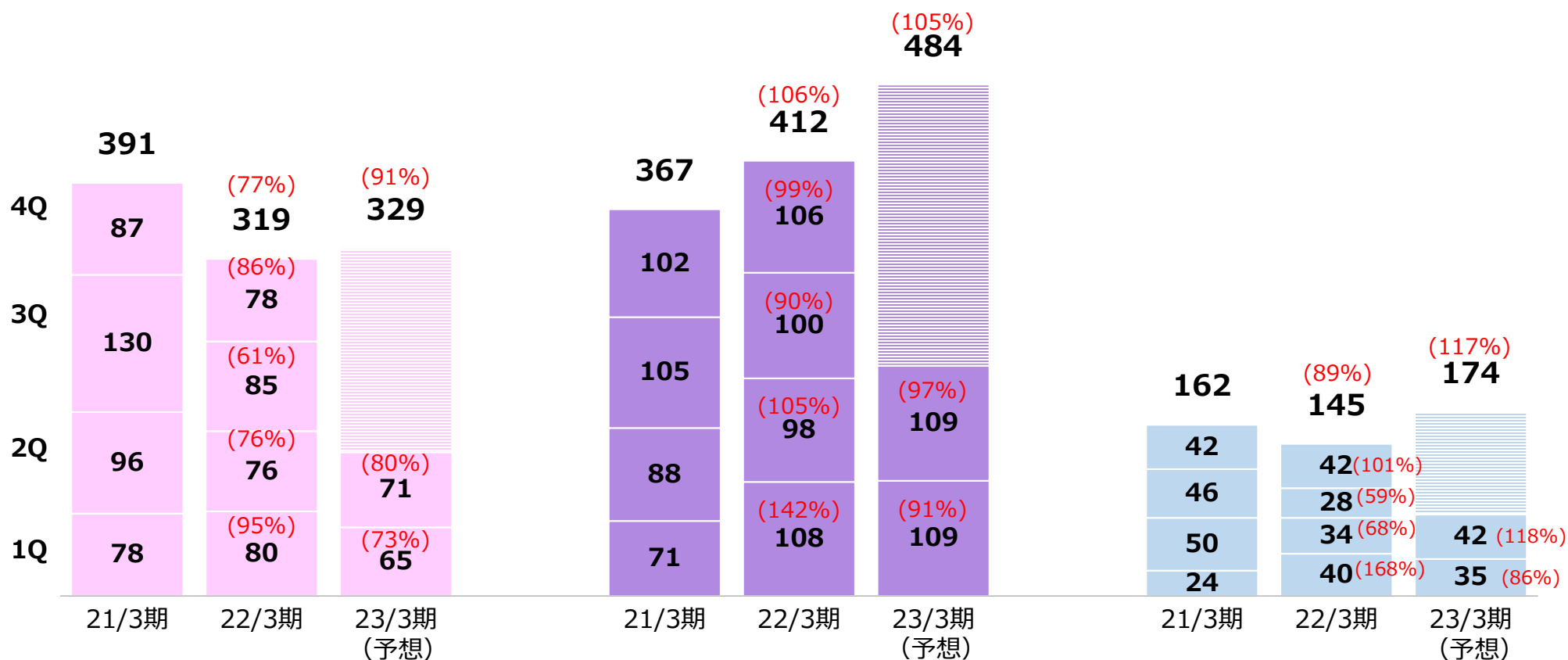
主要商品 販売状況

AV機器

PA機器

ICT機器

(億円)

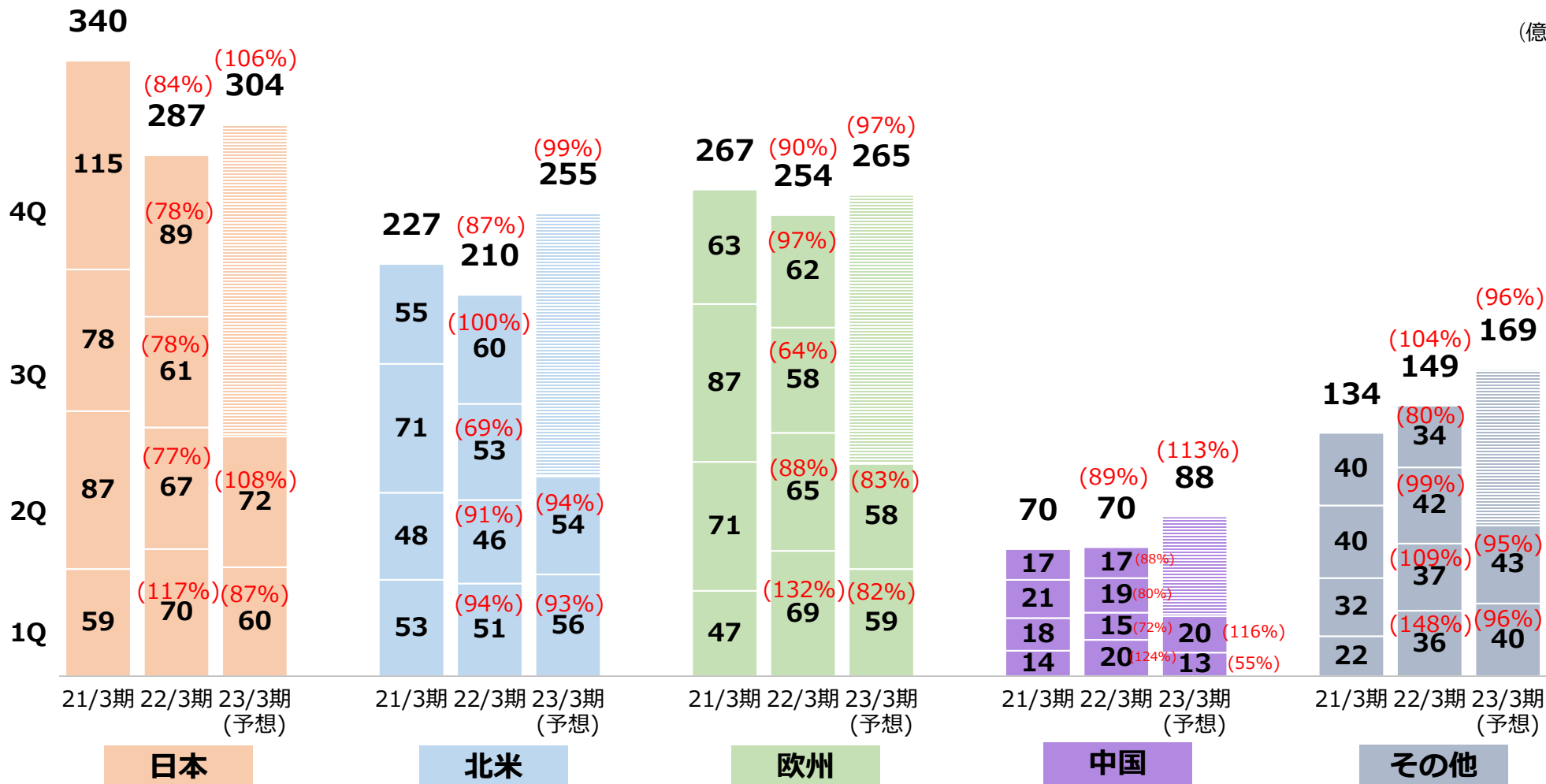


※PA機器はハード売上収入のみ（設備工事を除く）

()内は為替を除いた実質ベースでの前期比増減

地域別販売状況

(億円)



()内は為替を除いた実質ベースでの前期末比増減

個性際立つ商品の開発

多様なニーズに応える商品展開

ゲームストリーミングミキサー『ZG01』 ヘッドセット『YH-G01』



直感的な操作と独自の音声処理で
没入感の高いゲーム体験を提供

完全ワイヤレスBluetooth®イヤホン 『TW-E7B』



アーティストの想いを表現する音質と
耳の健康への配慮を両立した最上位モデル

ポータブルPAシステム 『STAGEPAS 1K mkII』 パワードスピーカー『DXL1K』



オールインワンPAシステムの新モデルと
増設や組み合わせに最適な簡易ミキサーモデル

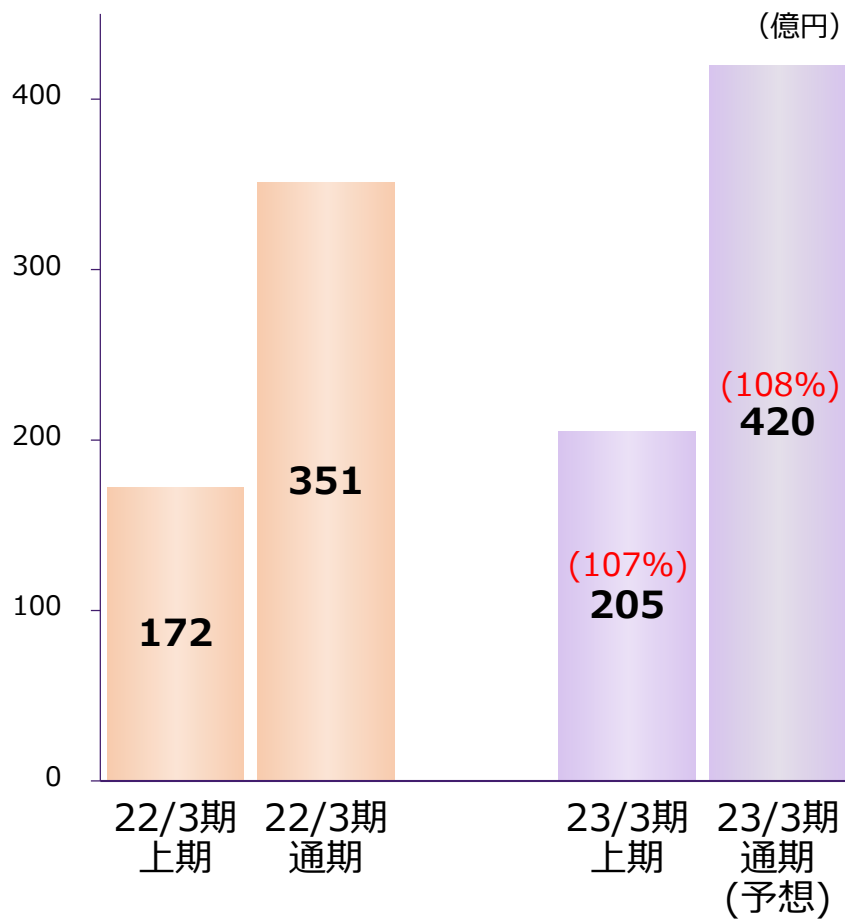
10ギガアクセスVPNルーター 『RTX1300』



RTXシリーズで好評な機能を継承・強化し
新たに10ギガビットにも対応

売上収益・事業利益

売上収益



[上期状況]

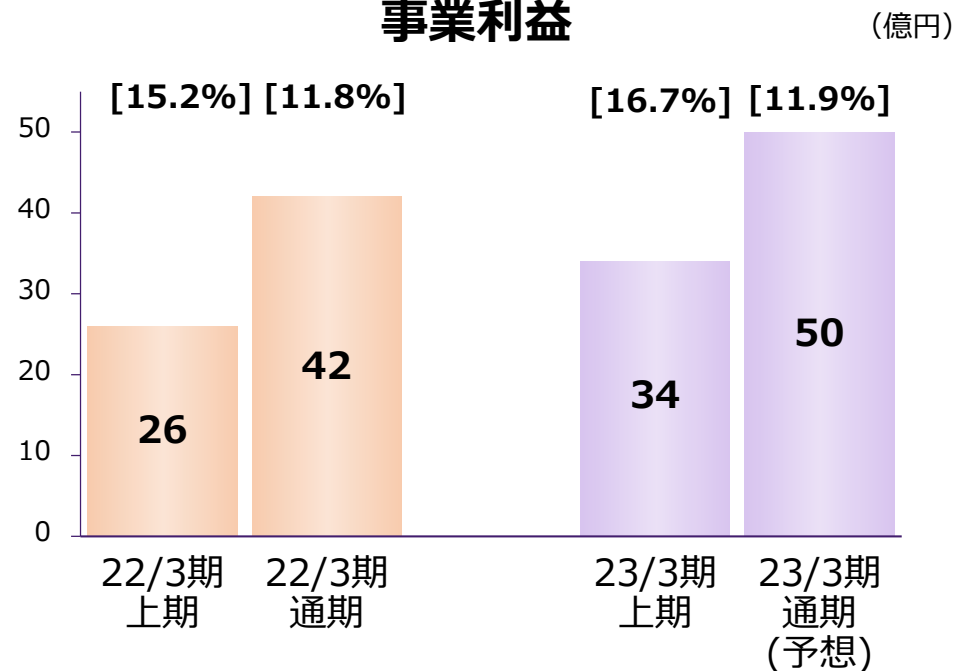
- ・半導体調達難により電子デバイスは減収
- ・FA機器は需要低調も、自動車用内装部品は販売回復

[通期見込]

- ・車載ビジネスの拡大により増収を予想

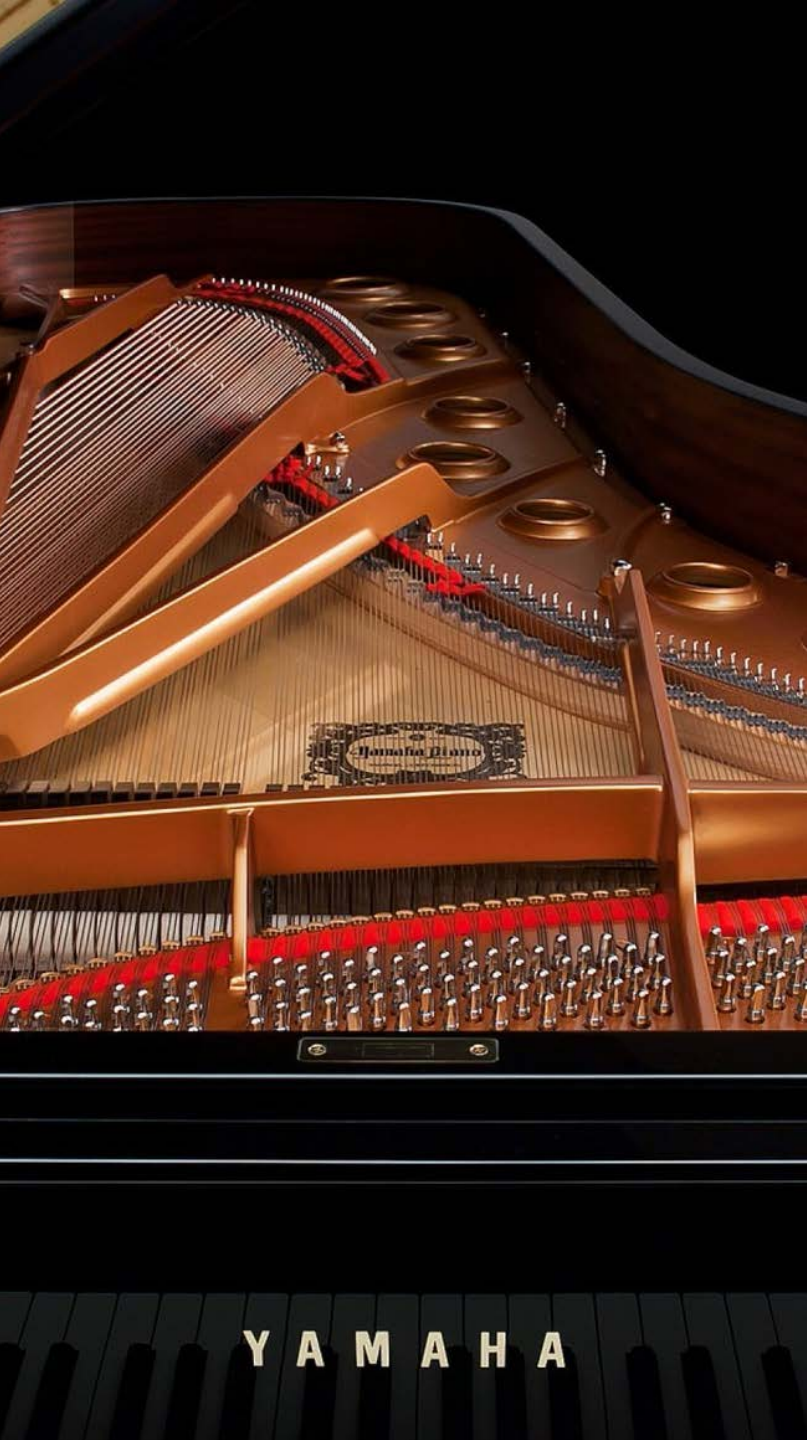
(増減収はすべて実質ベース)

事業利益



()内は為替を除いた実質ベースでの前期比増減

[]内は事業利益率



3. その他財務数値

貸借対照表

(億円)

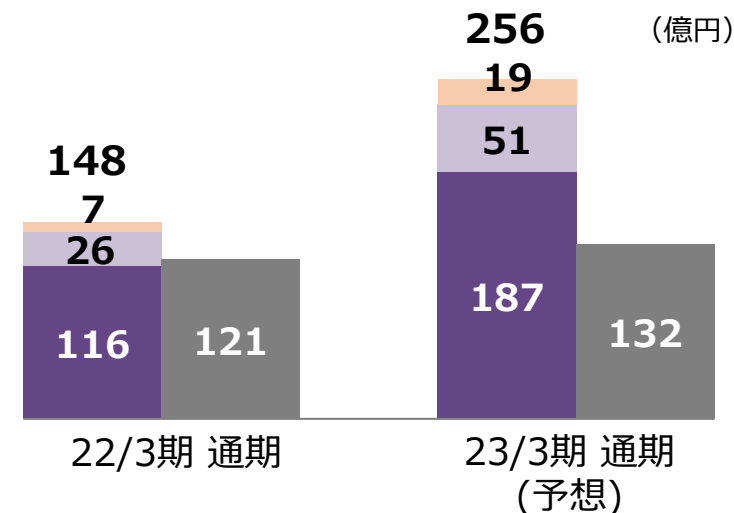
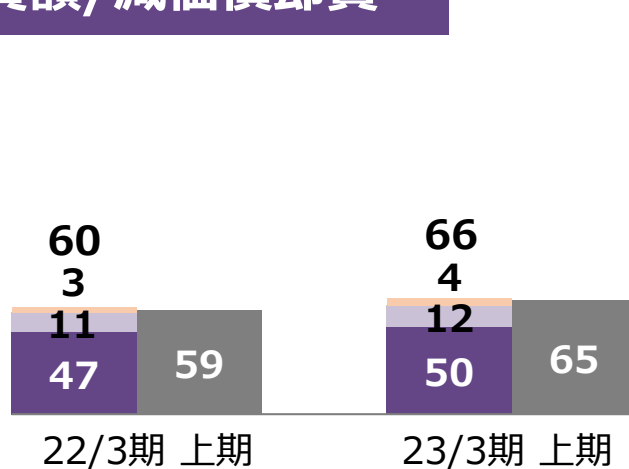
	22/3末	23/3 上期末	増減	23/3末 (予想)
現金及び現金同等物	1,725	1,398	△327	1,590
営業債権他	600	644	44	690
その他金融資産	44	26	△17	25
棚卸資産	1,186	1,565	379	1,430
他流動資産	72	86	15	100
非流動資産	2,183	2,219	36	2,295
資産計	5,809	5,940	130	6,130
流動負債	1,261	1,055	△206	1,150
非流動負債	389	397	8	390
資本計	4,159	4,488	329	4,590
負債及び資本計	5,809	5,940	130	6,130

設備投資額・減価償却費/研究開発費

設備投資額/減価償却費

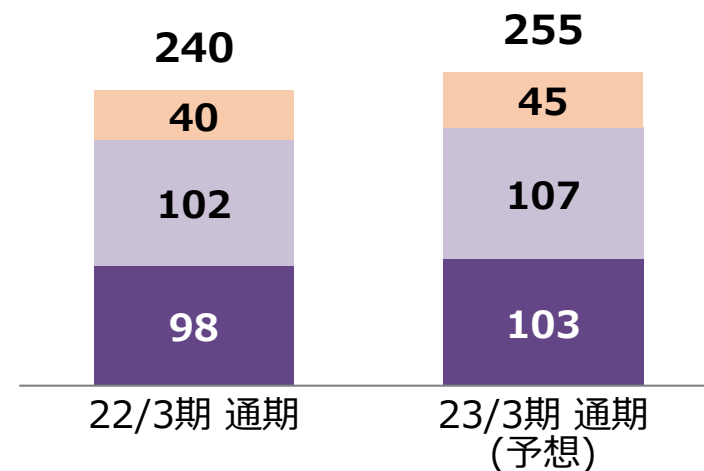
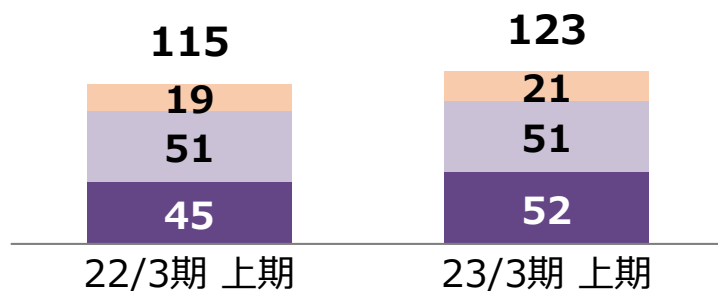
※通期予想は前回(2022年8月)から変更なし

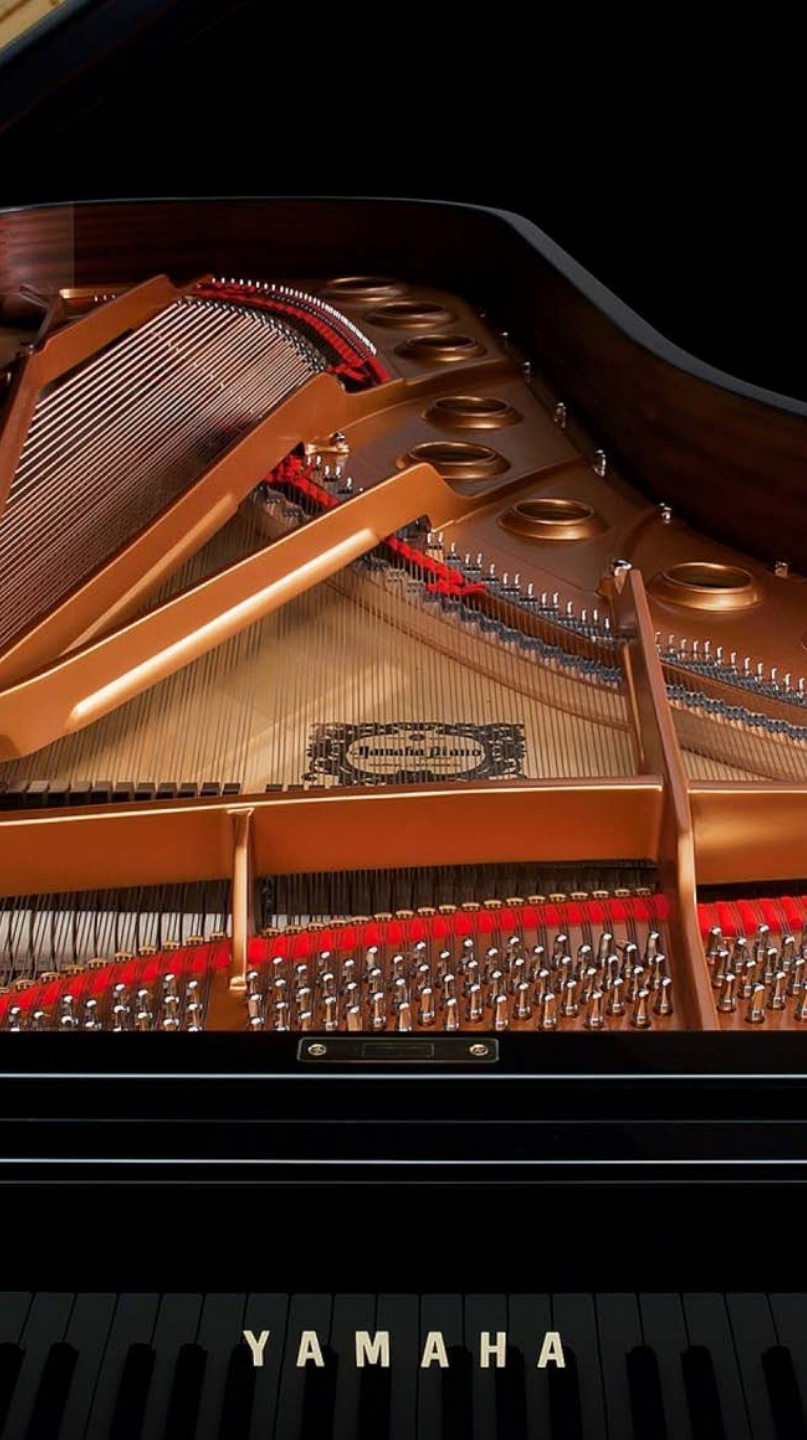
- その他
- 音響機器
- 楽器
- 減価償却費



研究開発費

- その他
- 音響機器
- 楽器





Y A M A H A

4. トピックス

中期経営計画重点テーマ (1)

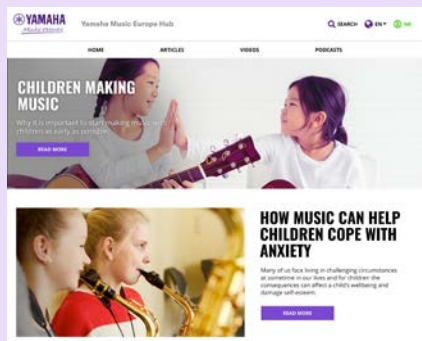
事業基盤をより強くする

顧客ともっと繋がる

日本および欧州で
Yamaha Music IDへの移行開始



<https://music-id.jp.yamaha.com/>



<https://hub.europe.yamaha.com/index/home>

新たな価値を創出する

リアルタイムで“あの人”の歌声になれるAI技術を開発



AIを活用した、あらゆる人の歌声を、特定の人
の歌声に変換する技術TransVox™を搭載したマイク

https://www.yamaha.com/ja/news_release/2022/22082401/

2022年度グッドデザイン賞受賞

グッドデザイン・ベスト100選出



業務用アナウンスシステム

https://www.yamaha.com/ja/news_release/2022/22100701/



アジアデザイン賞 2022受賞



Grand Award受賞
カジュアル管楽器Venova



https://www.yamaha.com/ja/news_release/2022/22102601/

「日経コンピュータ 顧客満足度調査 2022-2023」
ネットワーク機器部門において7年連続で第1位を獲得

「日経コンピュータ 2022年9月1日号 顧客満足度調査 2022-2023ネット
ワーク機器部門」において7年連続（通算8回目：2007年、2016年～
2022年）で第1位を獲得



https://www.yamaha.com/ja/news_release/2022/22082201/

中期経営計画重点テーマ (2)

サステナビリティを
価値の源泉に

【文化】
音楽文化の普及・発展によ
り市場を拡大する

新興国での器楽教育普及
の取り組み



キーボードプログラム開始 (インド)



音楽授業の教員研修を実施 (エジプト)

ともに働く仲間の
活力最大化

人権尊重とDE&Iを
推進する

Equileap社 日本企業ジェンダー
平等ランキング トップ10入り



https://www.linkedin.com/posts/yamaha-corporation_shared-photo-activity-6958708009057325056-vdW3/?trk=public_profile_like_view

<https://equileap.com/equileap-reports/>

エンゲージメントツール発行

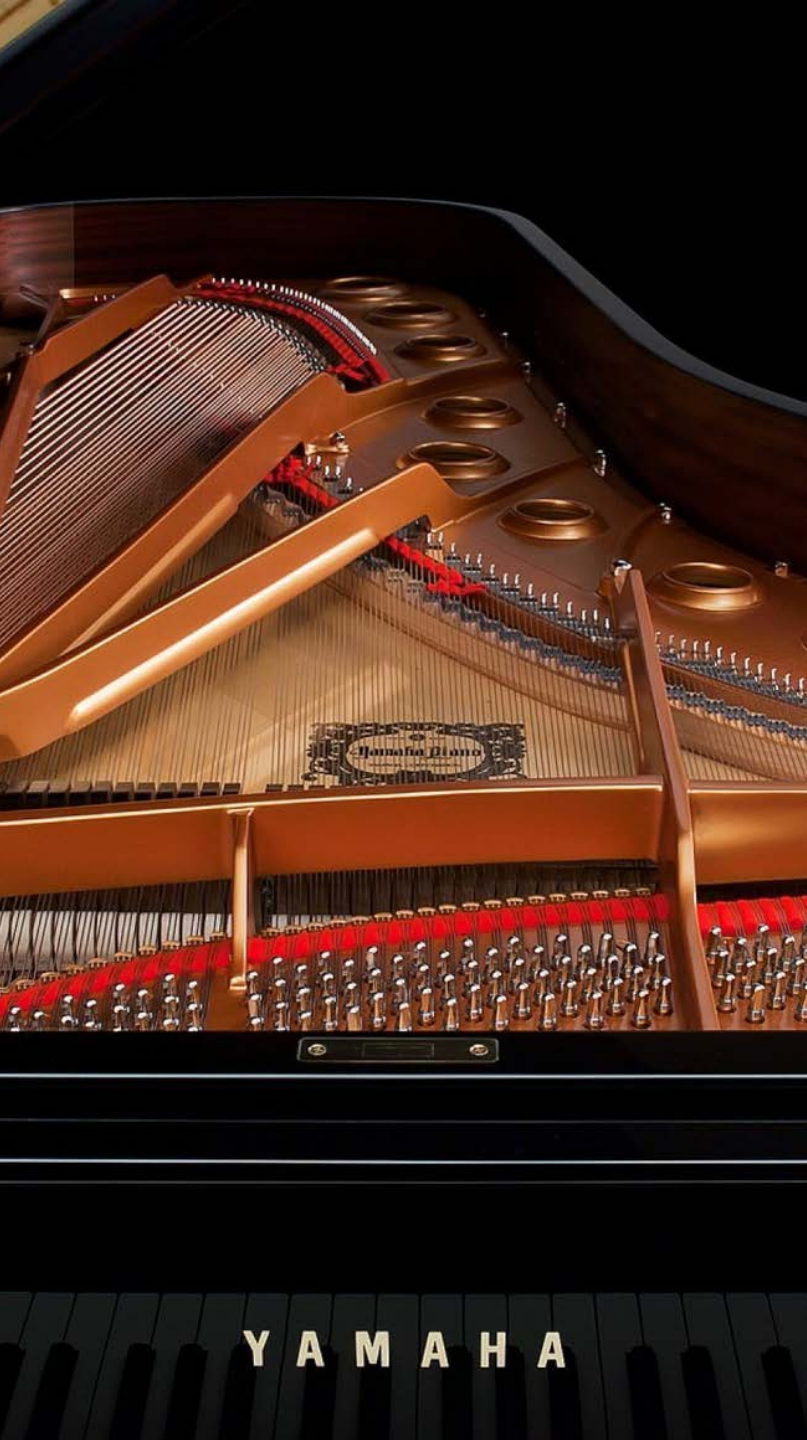
ヤマハグループ
統合報告書2022
サステナビリティレポート2022
発行



<https://www.yamaha.com/ja/ir/publications/>



<https://www.yamaha.com/ja/csr/download/>



付属資料

2Q 業績概要

(億円)

		22/3	23/3	前期比	
売上収益		960	1,121	+161	+16.8% ^{*2}
事業利益 (事業利益率)		101 (10.5%)	134 (12.0%)	+33	+32.8%
当期利益 ^{*1}		80	122	+42	+52.3%
為替レート (円)					
売上収益 (期中平均)	US\$	110	138		*2 +2.7% (為替影響除く)
	EUR	130	139		
利益 (決済レート)	US\$	110	137		
	EUR	131	137		

*1 親会社の所有者に帰属する当期利益

2Q 事業別実績

(億円)

		22/3	23/3	前期比	為替影響
楽器事業	売上収益	653	767	115	97
	事業利益	89	110	21	23
	事業利益率	13.6%	14.3%	+0.7P	
音響機器事業	売上収益	229	247	18	25
	事業利益	3	8	6	△6
	事業利益率	1.2%	3.4%	+2.2P	
部品・装置 その他の事業	売上収益	78	107	29	13
	事業利益	10	16	7	9
	事業利益率	12.3%	15.1%	+2.8P	

上期 その他収支等

(億円)

		22/3	23/3
事業利益		235	244
その他収益・費用収支	固定資産処分損益	47	△0
	その他	6	3
	計	53	3
営業利益		288	247
金融収支計	受取配当金	22	13
	その他	△15	41
	計	7	54
税前利益		295	301
法人税等		81	93
非支配株主利益		△0	0
当期利益*		214	208

* 親会社の所有者に帰属する当期利益

通期 その他収支等

(億円)

		22/3	23/3 (予想)
事業利益		430	520
その他収益・ 費用収支	固定資産処分損益	46	△0
	その他	17	5
	計	63	5
営業利益		493	525
金融収支計	受取配当金	34	24
	その他	3	26
	計	37	50
税前利益		530	575
法人税等		157	164
非支配株主利益		1	1
当期利益*		373	410

* 親会社の所有者に帰属する当期利益

この資料の中で、将来の見通しに関する数値につきましては、ヤマハ及びヤマハグループ各社の現時点での入手可能な情報に基づいており、この中にはリスクや不確定な要因も含まれております。

従いまして、実際の業績は、事業を取り巻く経済環境、需要動向、米ドル、ユーロを中心とする為替動向等により、これらの業績見通しと大きく異なる可能性があります。